

# 一般質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 11番 古長谷 稔

質問事項1	新庁舎整備の基本構想案を踏まえた今後の方針について
具体的な内容	先月11月14日、新庁舎整備に関して、三島市当局としての総合的な判断の結果として、南二日町広場を整備地案とした新庁舎整備の基本構想案が、全議員対象に示された。これにより、新庁舎整備の骨格となる整備方針の大枠が整理され、現在、パブリックコメントが実施されている。今後、整備方針の詳細を整理する「基本計画」の策定、建物の基本的な設計となる「基本設計」、建物の詳細な設計となる「実施設計」と進み、その後、令和13年度(2031年度)の供用開始を目指して、工事が進んでいく方針がまとめられている。この方針を踏まえ、以下、現時点での確認すべきと考える点について伺う。
1	新庁舎が目指す4つの基本理念が示されたが、これを踏まえて、「基本計画」の策定に向けて、今後どのように市民意見を取り入れていく考えか。
2	新庁舎整備に関する、国や県の補助金や交付金等の活用の可能性について
3	この度、中心市街地活性化に関する要望書が、三島商工会議所と三島商店街連盟との連名で三島市議会宛に届いた。内容としては、跡地の利用について、市民や観光客の利便性の向上、にぎわいの創出などを含めて、5項目が要望されている。一方で、市は基本構想案の概要版の中で、「跡地等が生じることは、市が発展する最大のチャンス」と記載している。これまでのスマートプランニングや回遊性の検証、三島駅南口再開発事業との連動、まちなかリノベーション計画など踏まえ、今後、これら要望に対してどう対応していく考えか。
4	新庁舎を世代を超えて80年間使用するに当たり、将来的な(40年で使用目的を変更するエリアを想定しておくなど)建物の活用方法について、時代に合わせた利活用ができるよう配慮が求められる。スケルトンインフィルなどの方針を基本計画にどう盛り込む考えか。
質問事項2	三島駅南口再開発の進捗状況を踏まえた対応について
具体的な内容	市街地再開発組合が、アスマチ三島プロジェクト共同企業体と三島市との事業協力協定の締結のもと、2022年組合設立の認可を受けて進めている三島駅南口東街区再開発事業について、工事に伴う仮開いの中で、工事が着々と進行しているものと推察する。本事業は、「三島市の宝である地下水や湧水を守りつつ、伊豆や箱根の玄関口である三島駅前をみんながイキイキ行き交う広域健康医療拠点の整備を通じて、にぎわいや交流を創出し、地域の発展に貢献する再開発事業を目指している」とされている。工事の進捗状況を踏まえて、以下伺う。
1	大前提としている建築物部分の「直接基礎」について、議員や市民が立ち会って、工事状況を直接確認できる場を作れないか。
2	にぎわい創出とともに、それに伴う周辺交通混雑の発生を心配する市民の声が多い。予め動的シミュレーション等による交通解析によって、完成前に混雑状況を予測できないか。
質問事項3	向山16号墳の現状と今後について
具体的な内容	向山小学校北東側に位置する向山古墳群では、2004年に、竪穴式石室を埋葬施設に持つ4世紀代の大型前方後円墳(16号墳)が発見され、2016年に静岡県史跡の追加指定を受けている。今年度もトレンチ調査を実施し、今後の調査予定も目途がたっていると推察される。これらを踏まえ以下伺う。
1	この間の調査結果について
2	今後の計画について
3	市内小中学生の学びに活かせないか。